東福保育園　　3歳児

年間テーマ	色
探求テーマ	ゲームを通して身近な色に気づく。

子どもの姿	・遊びの中で様々な色に気づく子が増えている。 ・寒さに負けず戸外で元気に体を動かして楽しんでいる。
「問い」を考える	・ゲームの中に色を取り入れたらどのような反応をするのか。
活動をデザインする	・はじめは保育士が鬼になって、遊びながらルールを知らせる。様子に合わせて子どもが鬼になれるようにする。
環境をデザインする	・園庭にいろいろな色の玩具や用具を子どもの目につきやすい所に配置しておく。
小グループを構成する	・一人ひとりのことばや表情から気づいたことや驚いたことに共感し、思ったことや感じたことを言えるようにする。
振り返り	戸外で少しずつ集団遊びができるようになってきたので、色鬼をしてゲームの中に色を取り入れる。 AやKは道具や見たものから色を探したり周りの子に色を教えたりして発見を楽しみ、Tも友だちを見ながら最後には自ら色を発見できたので集団遊びで経験することの大切さを改めて感じた。今回は園庭で行ったので、次回は場所を変えて楽しみたい。 色鬼をはじめ、また様々な集団遊びなどに発展していきたい。

2026年　　1月　　29日（木）

子どもの言葉・姿	写真
≪園庭で初めて色鬼を遊ぶ≫ 簡単にルールを説明した後、鬼が言った色を探しに出かける。 鬼「茶色！」 全員「ちゃいろ～！！」「どこだ～！？」 ≪大型遊具に集まる≫ A「あった！これ茶色だよね？」 Aが木製の階段に触るとKとTも触りにやってくる 保育士「そう！Aちゃん合ってるよ！」 ≪初めは動けなかった子も、何度か繰り返すうちに友だちが触ったものではなく、自分で色を探し始める≫ 鬼「黄色！」 Kがスコップを持ち「せんせい！黄色あった！」 後からTも同じものを持ち「あった！」 ≪遊びに慣れてきて子どもが鬼をしたがり保育士と交代する≫ 鬼「あお！」 Tが初めて自分でスコップの中から選んで見せる 「せんせい、見つけた！！」 鬼「みどり！」 KとH、花壇の草から色を見つけて 「ここにあるよ～！」	